

中国思想

授業科目名	授業題目	単位数	担当教員氏名	開講 セメスター	曜日 講時
中国思想概論	中国思想史概説1:南北朝 まで	2	齋藤 智寛	3	火曜1限
中国思想概論	中国思想史概説2:隋唐以 後	2	齋藤 智寛	4	火曜1限
中国思想基礎講読	中国思想文献講読・初級1	2	新居 洋子	3	金曜3限
中国思想基礎講読	中国思想文献講読・初級2	2	新居 洋子	4	金曜3限
中国思想各論	中国近世思想史研究(東 西思想交流)	2	新居 洋子	5	金曜2限
中国思想各論	経学文献閲読法	2	橋本 秀美	5	集中講義
中国思想各論	中国中世の思想	2	齋藤 智寛	6	月曜2限
中国思想演習	中国中世思想文献精読	2	齋藤 智寛	5	月曜2限
中国思想演習	中国近世思想文献精読	2	新居 洋子	6	金曜2限

科目名：中国思想概論

曜日・講時：火曜 1 限

セメスター：3 **単位数：**2

担当教員：齋藤 智寛

コード：LB32101, **科目ナンバリング：**LHM-PHI202J, **使用言語：**日本語

1. 授業題目：中国思想史概説 1：南北朝まで

2・授業の目的と概要：孔子以前の思想を代表する古典『詩経』『書経』に始まり、春秋戦国の諸子百家を経て、儒教・仏教・道教の三教が鼎立する南北朝時代、西暦で言えば紀元後 6 世紀までの中国思想史について、を原典の日本語訳を材料に解説する。

3. 学習の到達目標：講義で取り上げた諸思想の内容が理解できる。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

1. 導入
2. 『詩経』『書経』および『論語』の思想
3. 『老子』と『荘子』の思想
4. 『墨子』と『孟子』の思想
5. 『荀子』と『韓非子』の思想
6. 前漢の黄老思想と『淮南子』の思想
7. 董仲舒とその一派
8. 中間試験
9. 経書概説
10. 後漢の思想：王充『論衡』および卷末政治思想
11. 出土文献から見た古代思想
12. 魏晋の思想
13. 南北朝の思想 1：『論語義疏』と儒家思想
14. 南北朝の思想 2：仏教と道教
15. 南北朝の思想 3：『顔氏家訓』と南北朝の学術

5. 成績評価方法：中間試験 [50%] 期末試験またはレポート [50%]

6. 教科書および参考書：必要な資料は適宜配布する。

7. 授業時間外学習：紹介された書籍は出来るだけ読んでみることに。

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

9. その他：

科目名：中国思想概論

曜日・講時：火曜 1 限

Semester：4 単位数：2

担当教員：齋藤 智寛

コード：LB42101, 科目ナンバリング：LHM-PHI202J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：中国思想史概説 2：隋唐以後

2・授業の目的と概要：7世紀以後、20世紀までの中国思想史を概観する。仏教と道教の隆盛を経て儒家思想の再生がなされた隋唐時代に始まり、朱子学と陽明学、考証学を高峰とする近世の思想、西洋思想との接触により伝統の再編がなされた近現代の思想について、原典の日本語訳を材料に解説する。

3. 学習の到達目標：講義で取り上げた諸思想の内容が理解できる。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

1. 導入
2. 唐代初期の思想と学術
3. 中晩唐士大夫の思想 1
4. 中晩唐士大夫の思想 2
5. 隋唐時代の仏教と道教
6. 北宋の思想
7. 朱熹と朱子学の思想
8. 中間試験
9. 両宋期の仏教と道教
10. 金元の思想と宗教
11. 明代の思想 1：王守仁と陽明学の思想
12. 明末の思想 2：明末の思想
13. 清朝の思想と学術
14. 中国近現代の思想
15. 附論：朝鮮、越南、琉球の思想と文化

5. 成績評価方法：中間試験 [50%] 期末試験またはレポート [50%]

6. 教科書および参考書：必要な資料は適宜配布する。

7. 授業時間外学習：紹介された書籍は出来るだけ読んでみることに。

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness

9. その他：

科目名：中国思想基礎講読

曜日・講時：金曜 3 限

セメスター：3 単位数：2

担当教員：新居 洋子

コード：LB35305, 科目ナンバリング：LHM-PHI209J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：中国思想文献講読・初級 1

2・授業の目的と概要：明代中国で活動したイエズス会宣教師マテオ・リッチ（利瑪竇）の『天主実義』を題材に、キリスト教の立場からみた儒教・仏教・道教のイメージを読み解く。

参加者は、主に句読点が施された漢文テキストを用い、日中の現代語訳も参照しながら、自ら訓点を付けることによって、漢文の基本的な語法に習熟することを目的とする。また辞書の引き方や出典の調べ方も習得する。さらに、テキストの背景にある近世思想史や、中国とヨーロッパとの思想交流史についても考察を深める。

3. 学習の到達目標：漢文を自ら読解するための基本をひと通り身につける。
また東西の思想比較の観点から、儒教・仏教・道教を捉え直す意義について理解する。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

【授業内容・方法】

参加者は、担当箇所について資料を作成し、全員に配布する。またテキストの背景にある東西の思想比較について、中国とヨーロッパ双方の文献を参照しながら、全員で討論する。

【進度予定】

1. ガイダンス
2. 導入 1：訓点を付ける
3. 導入 2：出典を調べる
4. 導入 3：語釈を付ける
5. 『天主実義』読解 1
6. 『天主実義』読解 2
7. 『天主実義』読解 3
8. 『天主実義』読解 4
9. 『天主実義』読解 5
10. 『天主実義』読解 6
11. 『天主実義』読解 7
12. 『天主実義』読解 8
13. 『天主実義』読解 9
14. 『天主実義』読解 10
15. 『天主実義』読解 11

5. 成績評価方法：資料の充実度（40%）、予習状況（40%）、討論での発言（20%）

6. 教科書および参考書：初回授業の際に案内する。

7. 授業時間外学習：毎回、該当箇所について予習し、自分でまとめた資料を作成すること。授業の後には、資料の改訂版を作る。

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

9. その他：

専門分野や得意とする言語を問わず、東西思想交流に関心をお持ちの方はぜひ参加してください。

科目名：中国思想基礎講読

曜日・講時：金曜 3 限

semester：4 単位数：2

担当教員：新居 洋子

コード：LB45306, 科目ナンバリング：LHM-PHI209J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：中国思想文献講読・初級 2

2・授業の目的と概要：明代中国で活動したイタリア出身のイエズス会宣教師ジュリオ・アレーニ（艾儒略）による『西学凡』を輪読し、漢文の読解力を養うと同時に、近世の東西思想交流について考察を深める。
『西学凡』は、西洋の学問体系を中国人向けに解説する一方で、儒教用語も多く借用している。大航海時代以降の東西思想交流を理解するうえで必須の文献である。

3. 学習の到達目標：漢文を自ら読解するための基本をひと通り身につける。
西洋の学問体系が東アジアにいかに関介されたのかについて把握する。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

【授業内容・方法】

参加者は、担当箇所について資料を作成し、全員に配布する。またテキストの背景にある東西の思想比較について、中国とヨーロッパ双方の文献を参照しながら、全員で討論する。

【進度予定】

1. ガイダンス
2. 導入 1：近世中国の宣教師文献に関する概要
3. 導入 2：基本資料、データベース
4. 導入 3：イエズス会の教育カリキュラム
5. 『西学凡』読解 1
6. 『西学凡』読解 2
7. 『西学凡』読解 3
8. 『西学凡』読解 4
9. 『西学凡』読解 5
10. 『西学凡』読解 6
11. 『西学凡』読解 7
12. 『西学凡』読解 8
13. 『西学凡』読解 9
14. 『西学凡』読解 10
15. 『西学凡』読解 11

5. 成績評価方法：資料の充実度（40%）、予習状況（40%）、討論での発言（20%）

6. 教科書および参考書：初回授業の際に案内する。

7. 授業時間外学習：毎回、該当箇所について予習し、自分でまとめた資料を作成すること。授業の後には、資料の改訂版を作る。

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicatesthe practicalbusiness

9. その他：

専門分野や得意とする言語を問わず、東西思想交流に関心をお持ちの方はぜひ参加してください。

科目名：中国思想各論

曜日・講時：金曜 2 限

semester：5 単位数：2

担当教員：新居 洋子

コード：LB55202, 科目ナンバリング：LHM-PHI302J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：中国近世思想史研究（東西思想交流）

2・授業の目的と概要：大航海時代以降、東アジアとヨーロッパの間では、宣教師を仲介者とする思想交流が盛んになった。双方の心身観も、医療や解剖学、法医学に関するさまざまな書物や実践を通して、相互に伝わっている。本授業では、このような心身観の東西交流について、さまざまな一次文献や論文を通して学ぶことを目的とする。

3. 学習の到達目標：心身観の東西交流史の概要を把握する。
本テーマに関する基本史料および最新研究を把握する。
中国思想分野における学術論文執筆の要点を学ぶ。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

【授業内容・方法】

担当教官による講義を主とするが、参加者による関連史料や論文の読解も織り交ぜながら進める。

【進度予定】

1. 導入
2. 中国とヨーロッパの思想交流に関する基本情報
3. 東西思想交流における医療 1
4. 東西思想交流における医療 2
5. 東西思想交流における医療 3
6. 東西思想交流における解剖学 1
7. 東西思想交流における解剖学 2
8. 東西思想交流における解剖学 3
9. 東西思想交流における心・脳・魂 1
10. 東西思想交流における心・脳・魂 2
11. 東西思想交流における心・脳・魂 3
12. 東西思想交流における法医学 1
13. 東西思想交流における法医学 2
14. 東西思想交流における法医学 3
15. 東西思想交流における法医学 4

5. 成績評価方法：レポート（100%）

6. 教科書および参考書：毎回、担当教官が作成した資料を配布する。
また、関連する資料や論文は授業中に案内する。

7. 授業時間外学習：関連する史料や論文を読解し、資料にまとめてくる。

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicatesthe practicalbusiness

9. その他：

専門分野や得意とする言語を問わず、東西思想交流に関心をお持ちの方はぜひ参加してください。

科目名：中国思想各論

曜日・講時：月曜 2 限

Semester：6 単位数：2

担当教員：齋藤 智寛

コード：LB61206, **科目ナンバリング：**LHM-PHI302J, **使用言語：**日本語、中国語

1. 授業題目：中国中世の思想

2・授業の目的と概要：中国および日本に残された写本を資料として、中国中世思想の内容および研究史、研究方法について解説する。

3. 学習の到達目標：写本資料の特性と、そこから読み取れる思想の内容について理解する。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

1. 導入
2. 敦煌文書概説
3. 敦煌文書に記された仏教 1
4. 敦煌文書に記された仏教 2
5. 大蔵経概説
6. 日本古写経に記された仏教 1
7. 日本古写経に記された仏教 2
8. 道蔵概説
9. 敦煌文書に記された道教 1
10. 敦煌文書に記された道教 2
11. 中世儒学概説
12. 敦煌文書に記された儒教 1
13. 敦煌文書に記された儒教 2
14. 日本古写本に記された儒教
15. 附論：馬王堆帛書について

5. 成績評価方法：レポート [100%]

6. 教科書および参考書：必要な資料は適宜配布する。

7. 授業時間外学習：紹介された書籍は出来るだけ読んでみることに。

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

9. その他：

科目名：中国思想各論

曜日・講時：集中講義

セメスター：5 単位数：2

担当教員：講師（非）

コード：LB98814, 科目ナンバリング：LHM-PHI302J, 使用言語：日本語・中国語

1. 授業題目：経学文献読法

2. 授業の目的と概要：経学文献を作者の心の動きを探りつつ読む試みを紹介し、受講者にその面白さを感じてもらうことを目的とする。導入として、狭義の文献学に関しても、主観的認識が本質的意義を持つことを示す。その後、漢唐注疏を中心に実際の文献読解を行っていく。

3. 学習の到達目標：受講者が、結果としての経学学説ではなく、経学文献読解作業そのものの面白さを実感できること。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

- 第一回 経部文献学概要の説明
- 第二回 版本の概要の説明
- 第三回 写本に関する議論
- 第四回 孝経鄭注の読解
- 第五回 孝経孔伝と述議の読解
- 第六回 唐宋以降の孝経について
- 第七回 論語鄭注の読解
- 第八回 論語集解と義疏について
- 第九回 日本の経学資料について
- 第十回 礼記正義の概要
- 第十一回 曲礼注の読解
- 第十二回 檀弓注の読解
- 第十三回 三礼疏について
- 第十四回 儀礼正義・周礼正義・求古録礼説・礼書通故について
- 第十五回 総合討論

5. 成績評価方法：成績は平常点（20パーセント）とレポートの内容（80パーセント）を総合して評価します。

6. 教科書および参考書：教科書はありません。参考書は授業時に紹介します。

7. 授業時間外学習：授業時間外の学修については、授業の中で適宜指示致します。

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

9. その他：

科目名：中国思想演習

曜日・講時：月曜 2 限

セメスター：5 **単位数：**2

担当教員：齋藤 智寛

コード：LB51206, **科目ナンバリング：**LHM-PHI310J, **使用言語：**日本語、中国語

1. 授業題目：中国中世思想文献精読

2. 授業の目的と概要：梁・蕭統（501-531）の編『文選』より、思想史関連文献を選読する。『文選』本文と六臣注の読解を通して、中国思想文献の精確な訳注を作成する能力を涵養するのが本演習の目的である。

3. 学習の到達目標：中国思想の原典資料を読解し、精確な日本語訳を作成できる。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

- 1、導入
- 2、『文選』会読 1
- 3、『文選』会読 2
- 4、『文選』会読 3
- 5、『文選』会読 4
- 6、『文選』会読 5
- 7、『文選』会読 6
- 8、『文選』会読 7
- 9、『文選』会読 8
- 10、『文選』会読 9
- 11、『文選』会読 10
- 12、『文選』会読 11
- 13、『文選』会読 12
- 14、『文選』会読 13
- 15、まとめ

5. 成績評価方法：発表と討論での発言状況 [100%]

6. 教科書および参考書：必要な資料は適宜配布する。

7. 授業時間外学習：予習のほか、未解決箇所は授業後に調べて次回の討論に備えること。

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

9. その他：

科目名：中国思想演習

曜日・講時：金曜 2 限

セメスター：6 単位数：2

担当教員：新居 洋子

コード：LB65206, 科目ナンバリング：LHM-PHI310J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：中国近世思想文献精読

2・授業の目的と概要：近年、近世中国とヨーロッパの思想交流は世界中で高い関心を集めているテーマであり、様々な言語で研究著作が生み出されている。こうした著作のうち、本授業では英文の研究書を輪読し、日本語訳稿を作成する。

3. 学習の到達目標：中国とヨーロッパの思想交流に関する基本資史料を把握する。
東西思想交流に関する主要な論点を把握する。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

【授業内容・方法】

参加者は、担当箇所について日本語訳稿を作成し、全員に配布する。

【進度予定】

1. ガイダンス
2. 中国とヨーロッパの思想交流に関する研究史 1
3. 中国とヨーロッパの思想交流に関する研究史 2
4. 日本における最新研究 1
5. 日本における最新研究 2
6. 英文研究書の読解 1
7. 英文研究書の読解 2
8. 英文研究書の読解 3
9. 英文研究書の読解 4
10. 英文研究書の読解 5
11. 英文研究書の読解 6
12. 英文研究書の読解 7
13. 英文研究書の読解 8
14. 英文研究書の読解 9
15. 英文研究書の読解 10

5. 成績評価方法：資料の充実度（40%）、予習状況（40%）、討論での発言（20%）

6. 教科書および参考書：初回授業の際に案内する。

7. 授業時間外学習：毎回、該当箇所について予習し、自分でまとめた資料を作成すること。授業の後には、資料の改訂版を作ること。

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

9. その他：

専門分野や得意とする言語を問わず、東西思想交流に関心をお持ちの方はぜひ参加してください。